

# ドローンは飛んでいく eコマース普及のために

2019年11月18日

物流施設のハイテク化とドローン宅配実用化で効率的な物流を目指す  
物流インフラの発展はeコマースをさらに普及させる

## ドローン宅配実現へ実験進む

ネット通販の拡大で物流量が増大し、配達時間の個別指定等、小売業も生き残りをかけてサービスを展開するなか、無人ロボットやICタグを活用した物流施設のハイテク化等、その効率化を目指して取組みが進められています。ドローン宅配の実用化もその一例です。千葉県では、2016年4月に都市部として初となる実験が行われ、2016年には海上飛行も含む約700mの配送実験も行われました。

## ドローン運搬性能向上でeコマースがさらに普及することが期待できる

現在、国内の一般的なドローンの積載量は数kg程度と言われていますが、国内企業が積載量20~30kgのドローンを上市しています。海外ではさらに輸送可能量が大きいもの、自動車並みの最高時速を追求したもの等、高機能なドローンの開発が進んでいます。近い将来、ハイテク物流施設からドローンが飛び立ち、配達する姿が見られるかもしれません。国内の年間消費支出に対するeコマースの割合はわずかに7%に過ぎず、荷捌き・配送の機械化・効率化で消費者が高い利便性を感じられれば、eコマースの普及は進み、それを支える物流施設への需要がより高まることが期待できます。

### 【ドローン宅配が実現したら・・・】



### (ご参考) ドローンの飛行制御について



ドローンは機体に着けられた各種センサーからの情報をフライトコントローラーが処理し飛行を制御します。そして、GPSを活用して自動飛行を行ったり、一つの場所に留まることもできます。

### 【ドローンに搭載されるセンサーの例】

種類	役割
ジャイロセンサー	機体の角度の変化量を検出
加速度センサー	機体の速度の変化量を検出
気圧センサー	機体の高度を検出
超音波センサー	機体の高度制御に使用
磁気方位センサー	機体が向く方向を検出

※上記イラストはイメージです。



特設サイト「AIやIoTが引き起こす第4次産業革命を支えるTECHNOLOGY INFRASTRUCTURE テクノロジー・インフラ」公開中。  
左記QRコードもしくは ([https://www.pinebridge.co.jp/fund/40311181/tech\\_infra.html](https://www.pinebridge.co.jp/fund/40311181/tech_infra.html)) からご覧ください。

## ご留意事項

- 当資料は、情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第307号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会